

**OSK 日本歌劇団と台湾インターバウンドカンパニーが業務提携**  
**中国、台湾、香港、マカオ、シンガポールでチケット発売開始**  
**～日本語が分からなくても楽しめる「REVUE JAPAN」公演をオンラインで発売～**

株式会社 OSK 日本歌劇団（代表取締役：豊田崇克、本社：大阪市中央区）と盈多亜邦股份有限公司（インターバウンドカンパニー 董事長 大塚順彦、本社：台湾台北市）は訪日観光客向けのチケット販売事業で業務提携し、訪日前の観光客をターゲットとした OSK 日本歌劇団公演のチケットを中国・台湾・香港・マカオ・シンガポールにて販売開始いたしました。

上記各国からの訪日客の大阪に対する関心は顕著な高まりを見せており、特に OTA（オンライントラベルエージェンシー）経由の観光商品購入件数は今後も大きな成長が見込まれています。

OSK 日本歌劇団は、2017 年以来公演している訪日外国人向け「REVUE JAPAN」公演を積極的に拡販します。提携成果の第 1 弾として中国 4 大 OTA のひとつ「tuniu.com」にてチケット発売を開始しました。チケットの卸先や取扱公演は今後も拡大していく予定です。

OSK 日本歌劇団は、この度の業務提携を布石として、大阪がエンターテインメントを中心とした新たな観光拠点となるよう「日本の楽しさ」を世界に向けて発信して参ります。

**【REVUE JAPAN とは】**

夜に楽しめる観光が少ないという訪日外国人から要望に答えようと、日本語が分からない外国人にも楽しめるエンターテインメントとして、2017 年に春節期間限定で開催しました。そのときの来場者アンケートで、95%が「大変満足・満足」と好評を得られたことから、大阪の訪日観光拠点を目指す「DAIHATSU 心齋橋角座」にて現在も上演しております。

**【REVUE JAPAN～GEISHA & SAMURAI～公演概要（公演開始：2019 年 1 月 12 日（土）より）】**

開演時間：19:30（約 45 分）

会場：DAIHATSU 心齋橋角座（大阪市中央区東心齋橋 1-19-11）

観劇料：一般 3,000 円（税込）※自由席

共催：OSK 日本歌劇団・松竹・松竹芸能

公式サイト：<http://revue-japan.com>

内容：優美な和装で繰り広げられる美しい日本舞踊や、サムライと蜘蛛女の迫力ある闘いなどダンス中心の華麗なショーです。ショーの合間には観客の皆様にご参加いただく「舞体験」もあり、日本語が分からなくてもお楽しみいただけます。



写真はイメージです

## 【各社の強みと役割】

### 1. 株式会社 OSK 日本歌劇団の概要

1922年大阪に誕生し、今年創立97周年を迎えたOSK日本歌劇団は、戦前より宝塚歌劇団・松竹歌劇団（SKD）と並ぶ「三大少女歌劇」として人気を博しました。1926年に始まった「春のおどり」は、春の風物詩として親しまれ、現在も毎年大阪松竹座にて上演されています。また、新橋演舞場「夏のおどり」公演にも出演し、「ロケット」とも呼ばれるスピーディで迫力あるラインダンスなど、レビューの伝統を受け継ぎつつ、新鮮な舞台を作り続けています。また、2010年上海国際博覧会公演、2014年日本・キューバ交流400周年記念公演を海外で上演、2017年大阪文化フェス公演など外国人向けの公演で豊富な経験と実績を積み重ねてきました。

### 2. インターバウンドカンパニーの概要

インターバウンドカンパニー（盈多亞邦股份有限公司）は、2012年に台湾でレンタルWi-Fiルーターサービスを初めて普及させた国際モバイルサービス会社、テレコムスクエア台湾（特樂通股份有限公司）の関連会社で、日本へ渡航する台湾人旅行者の誘客を支援する専門企業です。台湾ブロガーや台湾企業とのコラボレーションをはじめ、OTAを利用したチケット販売など、ユニークな販売促進施策を日本の企業や自治体に提供しています。

この2社が連携することにより、国内外からの観光客に対して、世界でも稀少な歌劇文化を発信し、大阪の歴史・文化的価値の理解促進を図ります。また、夜のエンターテイメントを充実させることで観光客の滞在時間と消費額を拡大し、大阪の地域振興に寄与してまいります。

#### ◆報道関係者様からのお問合せ先◆

株式会社 OSK 日本歌劇団  
〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町4-3-11 ネクストウェアビル7階  
TEL : 06-6251-3092 FAX : 06-6251-3093 担当 : 中嶋